

めじろむつみクラブ（MMC）会報

【第19号】 2011年(平成23年)1月1日発行

特定非営利活動法人（NPO）
めじろむつみクラブ（MMC）事務局
住所：八王子市めじろ台2-37-12
tel：080-1038-6875
<http://www.hachioji-mmc.com/>

新年明けましておめでとうございます。

年頭に当たり皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。

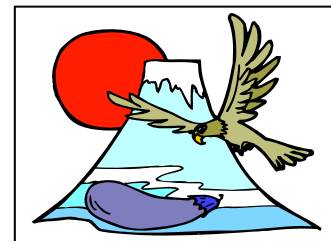
NPO法人めじろむつみクラブ（MMC）は高齢者の家事支援グループとして、愛され信頼され今年で10年目、有償ボランティア活動の理解も深まり、会員数もお陰様で150名に達しました。

一方で地域住民の交流を目的とした文化的催しも、趣味の作品展、歴史講演会、めじろ寄席、音楽コンサートなど、周辺地域の方々も交え広く喜ばれております。

この地域発の諸活動が八王子市の市民企画事業の一環として評価され、補助金を頂くなど、認知度も高まり、注目されてきております。

年明けて2011年、新しい気持ちで高齢者支援団体として、地域のため更なる交流と信頼を重ねてまいります。よろしくお願い申し上げます。

（理事長 高橋光男）



1. 第6回趣味の作品展を開催

めじろ台 秋の最大のイベント？「MMC趣味の作品展」は、今年もめじろ台第1会館をお借りして開催いたしました。

幸い願ってもない好天に恵まれ、地域の皆様はじめ、八王子市市民活動推進部、部長・課長様など多くの皆様のご来場を頂きました。

ここに改めて、ご協力ご支援を頂いた皆様方に心から厚く御礼を申し上げます。

☆ 概要と結果

- ・開催日時：11月27日（土） 午前9時～午後5時
11月28日（日） 午前9時～午後3時
- ・会場：めじろ台第1会館
- ・展示品：絵画、書、写真、造形粘土、押絵、
和紙ちぎり絵、木彫り仏像、生け花、切り絵、
絵手紙、俳句、編み物、押し花、吊るし雛、
アクリルサンド、ビーズ、折り紙など
- ・出展者：65名、 ・展示品数：102点、
- ・来場者：321名（めじろ台269名、他52名）



年を追うごとに作品の種類が増えレベルの高さが評判を呼んでおります。

また、知らない人同士が作品の前で語り合う、久しぶりの出会いに時を忘れて話し込むなど、さながら「芸術の談話室」のようでした。

（地域交流事業担当）

講座予定

3月に講演会の開催を予定しています。福祉、歴史、環境などのテーマについて、ご希望、ご意見などありましたら事務局までお寄せください。

（講座開催事業担当）

2. 「2010めじろ寄席」を開催

高齢化が進むめじろ台地域の活性化と世代交流の一環として、昨年に続き今年も中央大学落語研究会4人を招いて、めじろ寄席を開催しました。

- ・日時：12月19日(日)13:00～(開場:12:30)
- ・場所：めじろ台会館
- ・木戸銭：300円



① 「後生鰻」 三優亭不可苦

ご隠居の楽しみは神社仏閣をお参りすること。浅草大川前の鰻屋前を通ると、開いて焼いて食べるという鰻を可哀相に思い、言値1円で買い、「これからは人に捕まるところで泳ぐなよ」と放してやる。いい後生をしたと晴々した気持ちで帰った。

翌日も翌々日も鰻屋の前を通り、買っては放してやる。ところが、隠居の足元をみて、値段を吊り上げるからさすがの隠居もしばらく鰻屋の前を通らなかつた。

ある日、河岸が休みで商売を休んでいたところ、隠居がやってきた。生き物なら何でもいいだろうと、鰻屋の旦那、オカミさんをまな板の上に乗せて・・・。

② 「目薬」 ふられ亭小夜奈良

旦那が職人の長屋住まいの夫婦。旦那が目を患って仕事に行けず、生活に困って、専らイモを食べている。医者から目薬をもらって来たものの、滴薬でなく粉薬。かろうじて仮名だけは読める職人。

「このこなぐすりは耳かきいっばいめじりにつける」とある。「め」という字が分らず、女房と相談すると湯屋の暖簾の女湯の字と似ていると。「このこなぐすりは耳かきいっばい女じりにつける」と読んでしまう。そこで女房に尻を出させて、尻の穴に耳かきで薬をつけた。女房は、くすぐったいのに加え、毎日イモを食べているものだから、こらえ切れずに一発。すると粉薬が飛び散り、目の中に。「こうやってすると薬が目に入っていいや」

③ 「家見舞い」 中央亭笑楽

兄貴分が引っ越したので、祝いの一つも贈ろうとした二人組。いろいろ思案した結果、水瓶(みずがめ)をと、道具屋へ。二人はカネがない。

タダでよいと道具屋から水瓶と似て非なる肥瓶(こいがめ)を。水を張ってゴマ化し兄いのところへ。兄いは肥瓶とは分らず、喜んで次々と食べ物を出す。飯も食っていけど。洗ったのはあの肥瓶、何とかして二人は席を立とうとする・・・。

④ 「くしゃみ講釈」 ふられ亭尼庇留

ある講釈師の先生。芸は大したことはないくせに気位ばかり高く、愛想がないので、町内の常連から嫌われている。意趣返しを考える。高座の釈台(机)の真下から胡椒でなく唐辛子をまき散らせば、高座はめちゃくちゃになる筈と。そうとは知らない講釈師先生。釈台をたたき、合戦話しは佳境に。一人の合図で唐辛子を扇で高座に向って・・・。

今回の寄席開催は、平成22年度八王子自治研究センター市民活動助成金対象事業です。

入場者は50人、もう少しの入場者をとの思いです。

(講座開催事業担当)

3. 新会員の紹介

22年度8月26日以降、5名入会されました。会員総数は150名になりました。(12月15日現在)

4. 事務局便り

(1) 22年度作業状況…12月15日までの作業件数は109件(前年度は92件)行っています。

(2) 広報活動…①10月2日、はちおうじ志民塾(これから企業を上げる意欲ある人々)で、MMCの活動状況を説明。

②12月13日～20日、南口新高層ビルのロビーに、MMCが補助金を受けた事業の写真を展示。